

政策統計・マーケティング事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [行財政構造改革]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
県民の県政に対する関心と理解を深めるとともに、政策形成過程からの県民参加を推進します。												
[事業内容]												
<p>現状分析段階および政策立案段階において、アンケートを実施し、県民の意向・意識を調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査手法 アンケート調査 ・ 調査対象者 原則として県内在住者 ・ 実施件数 年5件程度 ・ 調査内容 政策形成過程において反映されるもの 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		6,750	6,248	5,600	5,600	9,100	5,600		27年度までのシーリングによる減。			
2月現計予算額の推移		6,750	6,248	5,600	7,842							
決算額の推移		5,354	4,547	3,620								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	調査結果を反映した施策 等の数(件)	(目標) 6 実績 3	(6) 4	(5) 4	(5) 5	(5)	(5)					
活動指標	実施件数(件)	(目標) 6 実績 3	(6) 4	(5) 4	(5) 5	(5)	(5)					
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	9,100	2,500			6,600	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	政策統計・マーケティング事業	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県民生活に関わりの深い事業や計画策定にあたり、本調査事業を実施することにより県民の意向を踏まえた検討が行われている。調査結果は、「ふくい森林・林業基本計画」策定などに反映されており、政策の形成に有効な資料となっている。</p>								
[受益者] 調査結果を反映した施策に関わる県民				[想定される受益者数] —				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 政策推進のための独自統計調査事業 (役割分担) 「県政マーケティング事業」…意識調査を実施 「政策推進のための独自統計調査」…客観的調査を実施			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
福井県環境基本計画策定のための意識調査など、計画どおりに調査を実施した。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域連携による政策イノベーション推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [「ふるさと福井」に誇りと自信] 政策 [「ふるさと知事ネットワーク」による地域連携]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」の交流・連携を強め、地方発の新政策を提案・実行することによって、国の政策・制度を改革します。また、地方同士の新たな連携を生み出す仕組みづくりを行い、民間レベルでの多種多様な連携を創出します。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○新たな政策づくりを推進するため、知事会合や政策イノベーション会合を開催 ○各県の得意分野・特長を活かした全国規模での共同研究を推進 ○地方同士の新たな連携を推進 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		3,809	2,565	2,857	1,988	809	301	平成28年度は当県で知事会合を開催したため、事業費が増加している。				
2月現計予算額の推移		2,609	1,065	1,701	1,988							
決算額の推移		2,171	964	1,588								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	政策提案等の全国波及や 国の制度として実現	(目標) 実績	(1) 2	(1) 4	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	毎年度1件			
	活動指標	新たな事業の立案	(目標) 実績	(2) 1	(2) 3	(2) 2	(2) 2	(2) 2				毎年度2件
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	809				809	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	地域連携による政策イノベーション推進事業	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>国の地方創生に動きが強まってきたが、平成22年に設立した「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」は地方発の新政策の提案・実行を進めるなど、地方創生の動きを先取りし、現在の流れを創り出すことに大きく貢献してきた。</p> <p>今後も大都市中心の国の政策の転換を目指すべく、当ネットワークを活用し、地方間の新たな連携を進める必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
他県の状況	<p>設立当初は先進的な取組みであった知事同士によるネットワークだが、類似の取組みも出てきている。</p> <p>【参考】 日本創生のための将来世代応援知事同盟 (鳥取県、長野県など若手知事12名)</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	知事同士のネットワークであり、市町との連携はない					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<p>ふるさと知事ネットワーク構成県以外の4県を含む8県により、国が進める選挙制度改革に地方創生にふさわしい仕組みを求める緊急提言を衆議院議長に実施。8月には、勝山市において知事会合を開催し、地方における若者や女性、高齢者の活躍促進などを協議。「ふるさと創生の実現に向けた提言書」をとりまとめ、担当大臣に提言した。</p> <p>また、若者の地元定着に関する課題の共同研究を開始するとともに、平成27年度に制作したウェブドラマを活用した福井県へのU・Iターン促進を図るため、県内外の大学生や保護者にドラマの周知を行った。</p>					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

政策推進マネジメントシステム強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	政策推進課		課長名	山川満寛
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [行財政構造改革]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 []				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
[事業目的] 政策アドバイザーとの意見交換や、各界の第一人者等との政策会議、部局横断型のプロジェクトチーム等により、政策課題の解決や全国のモデルとなる先進施策をつくります。												
[事業内容] (1) 政策アドバイザーとの意見交換（～30年度、年4回程度） ・本県にゆかりがあり、かつ幅広い見識と人脈を有する人物を政策アドバイザーとして委嘱し、高速交通体系の整備進展、人口減少等、局面が大きく変化する中、県勢の重要課題について、年間を通じて助言を得る。 (2) 政策会議（～30年度、年間20回程度） ・各分野における県内外の有識者・第一人者をリストアップし、知事・部局長等が機動的に意見交換。提言を踏まえて新施策・事業を立案・実行 (3) 課題解決タスクフォースチーム・企画参事会（～30年度、年20プロジェクト程度） ・複数部局にまたがる新たな課題に対し、企画参事や若手職員の企画力を生かして解決策を検討するチームを設置。新施策・事業を立案・実行 (4) 大学等との共同研究プロジェクト（～30年度、ゼロ予算） ・大学・研究機関等に新しい共同研究プロジェクトを働きかけ、2～3年程度の期限を設定して実行 (5) 情報収集・活用（～30年度） ・新聞等から得られる国内外の最新情報を迅速に把握し、本県における実施可能性を検討												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		10,283	6,374	6,567	4,420	4,450	4,450					
2月現計予算額の推移		6,843	4,339	4,607	4,420							
決算額の推移		6,716	3,059	3,609								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	共同研究PJ等による新事業数	(目標) (40)	(40)	(40)	(45)	(45)	(45)					
		実績 40	42	41	47							
活動指標	政策会議等の実施数	(目標)										
		実績 46	56	42	43							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	4,450				4,450	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	政策推進マネジメントシステム強化事業	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>人口急減と少子・高齢化、グローバル化といった国内外に関わる問題、高速交通体系の整備進展、原子力・エネルギー等の本県特有の課題など、福井県が直面する課題はますます大きく、かつ複雑になってきている。また、「地方創生」により、若者のU I ターンなど地域間の政策競争は今後さらに厳しくなる。こうした中において、福井県として先進性のある効果的な政策を立案し、選択実行していくため、国内外の最新情勢に通じた識者・第一人者との意見交換や、部局横断による迅速な情報収集・政策形成の必要性は、ますます高まっている。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民				78万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 外へ開くハイレベル県政事業 (実績) 政策幹をトップに各部局企画幹をメンバーとする「新政策ディスカッション」を毎月開催し、節電運動「クールライフプロジェクト」、「食の國ふくい」、人口減少対策など部局横断の政策を立案。予算化に結び付けた。				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
(28年度実績) 企画参事ミーティングにおいて新政策提案を193件行ったほか、政策アドバイザー4名と延べ6回の意見交換や各分野の第一人者との政策会議(43回)等を通じ、「豊かさ新指標」研究プロジェクト、幸福ふくい情報交流促進事業など47件の新たな事業立案・拡充を行った。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

高速交通開通アクション・プログラム・ステップアップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土] 政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[高速交通開通アクション・プログラム]									
[事業目的]												
新幹線小浜京都ルート決定を受け、東西南北4つのオープン・ゲートを通じて人の誘致と交流を促進するとともに、嶺南の地域づくりの方向性について検討します。												
[事業内容]												
<p>(1) 隣接県との交流ミーティング等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接県との知事懇談会に加え、様々な分野の有識者等との交流ミーティングを開催するなど、東西南北のオープン・ゲートを通じた人の行き来を活発化するための施策の拡充を検討 <p>(2) 若狭湾エリアの新たな地域構想の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小浜京都ルート決定を受け、国内外との交流・交易拡大を通じた地域づくりを進めるため、若狭湾エリアの新たな地域構想と具体的プロジェクトを検討 <p>(3) アクションプログラムの実行・見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東西南北のオープン・ゲート対策や若狭湾エリアの地域構想の検討を受け、アクション・プログラムの基本戦略を改訂 ・ 新規事業の追加・拡充を行い、毎年度、アクション・プログラム（別冊エリア別プロジェクト集）を見直し 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						4,428	4,428					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	先導的な民間プロジェクトの実行 (目標) 実績					(4)	(4)		福井・坂井・丹南・奥越・二州・若狭エリア×2件			
活動指標	プログラムとりまとめ・改訂 (目標) 実績					(1)	(1)		毎年度、見直しを行い、新たな施策を追加			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	4,428				4,428	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	高速交通開通アクション・プログラム・ステップアップ事業	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通、福井国体開催など、今後10年以内に、本県の立地条件、ポジションを飛躍させる大きなチャンスが次々と到来。この効果を県下全域に波及させるため、ハード整備事業を中心に、事業の具体的手順（実施主体、整備内容、事業費、目標年次）を明確に示し、官民一体となり実行していく。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民				78万人			
他県の状況	石川県は新幹線開業の6年前、富山県は3年前に同様の行動計画を策定		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況	各市町の関連事業に関してヒアリングを行い、プログラムに反映			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成27年度末にとりまとめた「高速交通開通アクション・プログラム」に基づき、29件のプロジェクトを完了した。 また、第2恐竜博物館や水産学術産業拠点の基本構想等を策定するなど、構想段階のプロジェクトの具体化を進めた。 さらに、「北陸新幹線三駅周辺整備推進事業」や「新ふるさと創造推進事業」、「周遊・滞在型観光推進事業」など、市町への新たな支援策を創設するとともに、部局横断の体制を強化し、計画策定からサポートを行った。		平成28年末の小浜京都ルート決定を受け、官民が共動して福井への人の誘致と交流を拡大する体制を強化する。 また、若狭湾エリアの新たな地域構想と実現に向けたプロジェクトを検討し、アクション・プログラムを追加・拡充する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「ふくいの希望と幸福」実践推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県政] 政策 [希望創造・幸福実感プロジェクト]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[ふくい創生・人口減少対策戦略]								
[事業目的]											
希望学を「共有・実践」するため、県民が共有する「ふくいの希望」について、中学生を対象として講師を派遣し、講義や実技指導を行うことによって、若者の「夢・希望」の実現を応援します。											
[事業内容]											
<p>(1) 若者の夢応援プロジェクト 県民が共有できる「夢・希望」をテーマに設定し、その「夢・希望」を実現した先駆者を講師として中学校に派遣。講義や実技指導を行うことによって、若者の「夢・希望」の実現を応援。</p> <p>(2) 東京大学生のインターンシップ受け入れ 福井県庁や県内企業、地域おこし協力隊等において東京大学の学生のインターンシップを新たに受け入れ。</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					2,921	0					
2月現計予算額の推移					2,921						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	応援団結成（実技指導実施） (目標) 実績				(3) 15				夢を実現した先駆者による若者の夢実現応援		
活動指標	サポーター登録数 (目標) 実績				(200) 220				県民を挙げての県勢選手の応援		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	0				0	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	「ふくいの希望と幸福」実践推進事業	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>東京大学社会科学研究所との共同研究により、希望学に関する成果が蓄積された。一方、現状では希望を持って活動する人材（希望活動人口）が増えていると言 い難く、希望学の成果を踏まえ、希望を持って地域活動等を実践する県民の増加を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民				約78万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「希望の福井・福井の希望」推進事業 (実績)				
			<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に対する希望学講座を開催 5回（予定含む） ・東京大学生の体験活動受入 11人 ・ふくいのいろはカルタを全小学1年生に配布 				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
応援団結成（実技指導実施） 15回（14中学校） サポーター登録 220人 壮行会等における選手激励 7回 体験活動プログラム受入れ 9人		若者・定住支援課の「若者チャレンジ応援プロジェクト 事業」および「ふくいワークキャンプ推進事業」に整理統 合		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,921
				<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「豊かさ新指標」研究プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県政] 政策 [幸福実感、誇りを生み出す「ふるさと政策」]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]								
[事業目的]											
<p>地域が長期的成長を続ける条件となる「地域の豊かさ」を測る指標として、蓄積された資本の価値を数値化する「豊かさ新指標」を開発し、豊かさを向上するための政策形成に活かします。</p>											
[事業内容]											
<p>(1) 「豊かさ新指標」開発に向けた研究会の開催 国連が提唱する「新国富」指標 (Inclusive Wealth Index) をもとに、地域の豊かさを測定する新指標を検討するため、県および九州大学 (国連ディレクター馬奈木教授) による研究会を開催。先行研究や調査結果の分析、専門家や地域活動者への聞き取り調査などを行い、新たな指標を開発する</p> <p>(2) 「豊かさ新指標」講演会の開催 講演会「『豊かさ新指標』から見える地域の豊かさ (仮称)」を開催 日 程 平成30年2月中旬 (予定) 内 容 「豊かさ新指標」に関する基調講演、専門家や地域活動者を交えた分科会 など 講 師 馬奈木俊介九州大学教授 等 対 象 者 自治体職員 等</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					0	1,900	1,900				
2月現計予算額の推移					1,523						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	豊かさ新指標の研究開発 (目標) 実績				(0) 0	(1)	(1)		29年度に豊かさ新指標を公表。継続的に見直し		
活動指標	研究会開催 (目標) 実績				(5) 5	(5)	(5)				
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	1,900	950			950	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	「豊かさ新指標」研究プロジェクト	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川 満寛
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県の豊かさを表す「豊かさ新指標」をもとに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都道府県や県内市町と比較して、本県や各市町の優位性などの特徴を評価 ・ 特定の地域における時間的变化を分析して、各分野の持続可能性を評価 <p>することにより、必要な施策を決定するための参考とする</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民				78万人			
他県の状況		前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
28年度は、九州大学および県関係課等による研究会を4回開催。うち1回は県内全市町が参加。 社会関係、自然、文化など各分野の専門家、地域活動者と継続して意見交換を実施。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

総合推進調整事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S58 年度 経過年数 35 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
「福井ふるさと元気宣言」に掲げられている重要な施策や新たな課題に対応するため、調査研究等を行います。												
[事業内容]												
(1) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「福井ふるさと元気宣言」に掲げられている重要な施策の構想段階の事業等の実現 ・政策議論に提案された新たな政策課題の具体的推進 											
(2) 対象	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹的、広域的な施策の計画に関する調査 ・所管が多岐にわたり調査で、関係部が共同して実施することにより総合的な効果が期待される調査 ・「福井ふるさと元気宣言」に掲げられている重要な施策や政策議論に提案された新たな課題の具体的推進に関わり、実施することにより総合的な効果が期待される事業 											
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000					
2月現計予算額の推移	5,000	5,000	5,000	5,000								
決算額の推移	2,600	4,058	0									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績							社会経済情勢の変化に伴う新たな政策課題に対応するための調査研究であり、成果指標を設定することは困難である。				
活動指標	調査事業件数	(目標) 実績	2	1	0	1						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
要求額	5,000				5,000	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	総合推進調整事業	部局名	総合政策部	課名	政策推進課	課長名	山川満寛
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた事業内容は広汎多岐にわたることから、事業の総合的な推進を図るためには、事業の調整が不可欠である。特に、ふくいブランド、高度情報化、国際化等や新たな政策課題等、その所管する分野が多岐にわたり、しかも重要課題については、内容を十分に調査し研究等をする必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
28年度は文藝春秋に雑誌掲載委託。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	